



地域の絆で育む 農と食

第8次地域営農 振興計画



JA兵庫南自己改革プログラム

令和2年度～4年度

 JA兵庫南



ご挨拶

兵庫南農業協同組合

代表理事組合長

中村 良祐



第8次地域営農振興計画策定にあたって

組合員の皆様には、益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、輸入農産物の増大、農産物価格の低迷、農業従事者の高齢化と後継者不足や、農地の耕作放棄の増加など様々な課題に直面しており、地域農業基盤の弱体化が進行しています。

このような中で、JA兵庫南は、ふあ～みんSHOPを核として地域の消費者に農業の理解を深めていただくとともに、農業生産体制づくりによる地域農業の活性化に取り組んで参りました。

今後、更に取り組むべき課題として、安全・安心な農産物の提供による食への信頼と労働力不足に対する取り組みが強く求められています。

これらに対応していくため、営農指導体制の充実、担い手の確保・育成、生産者と消費者の交流、マーティング志向による有利販売体制の確立により、地域農業の振興に貢献するJAを目指して営農振興計画を策定いたしました。

組合員をはじめ地域の皆様の期待に応えるべく、役職員一同全力で取り組んで参ります。

最後に組合員の皆様には、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。



目 次

① 販売力の強化	4
(1)米・麦・大豆等の販売数量目標	
(2)市場・契約・インショップの販売金額目標	
(3)農産物直売所の取扱金額と来店客数目標	
② 生産力の拡大	6
(1)米・麦・大豆等の生産力の強化	
(2)農産物直売所の生産力の拡大	
(3)野菜指定産地の維持に向けた作付け面積の拡大	
③ 担い手の育成と支援	8
(1)営農相談機能の充実	
(2)営農組織への支援	
(3)多様な担い手への支援	
(4)新規就農者の育成	
(5)労働力不足に対する取り組み	
④ 生産性の向上と生産コストの削減	11
(1)生産コスト低減への取り組み	
(2)JA独自の支援施策による利用促進	
⑤ 農産物等の安全・安心対策	12
(1)農薬安全使用の指導強化	
(2)残留農薬・加工品微生物検査の実施	
⑥ 施設の活用と関連施設の再編	13
(1)施設を活用した取扱量の拡大	
(2)関連施設の再編への取り組み	
⑦ 地域別取り組み事項	16
(1)明石播磨地区	
(2)加古川地区	
(3)稻美地区	
(4)高砂地区	
⑧ 販売計画	18
⑨ JA兵庫南営農施設MAP	19

1 販売力の強化

(1) 米・麦・大豆等の販売数量目標

販売数量		単位:袋(30kg)、トン		
品目	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
米(袋)	101,612	116,000	118,000	120,000
大麦(t)	1,724	1,600	1,600	1,600
小麦(t)	285	300	320	340
白大豆(袋)	795	1,500	1,500	1,500

※令和元年産大麦は大豊作であったが、令和2年産以降では単収400kgを目標とします。

① 穀類の集荷・販売数量を増加し、販売力の強化を図ります。

- ・米については、JA直売所や業者向け等の直接販売の割合を高めます。
- ・麦の品質の向上に努めるとともに、小麦については、需要に見合った品種を検討します。
- ・白大豆については、実需者向け直接販売などの販路拡大や、にじいろふあ～みんの豆腐加工での使用の増加に努めます。

(2) 市場・契約・インショップの販売金額目標

販売金額		単位:千円(税別)		
	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
販売金額	367,641	390,000	400,000	420,000

① 多様な販売先を開拓するとともに、実需者のニーズに合わせた販売に取り組みます。

- ・キャベツ・ブロッコリー・スイートコーン等を中心に全農との連携を強化し、有利販売に努めます。
- ・販売力強化のため、商談会等へ積極的に参加し、新規販売取引先の獲得に努めます。
- ・スイートモーニング・いなみ野メロン・清水いちご・志方イチジク等のブランド力を活かした販売を強化します。



六条大麦の収穫作業



JR 加古川駅構内のスイートモーニングの出張販売



(3) 農産物直売所の取扱金額と来店客數目標

取扱金額

単位:千円(税別)

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
農家出品物	1,644,227	1,778,600	1,854,000	1,932,000
直 売 米	365,215	359,000	374,000	389,000
そ の 他	356,134	409,400	427,000	446,000
合 計	2,365,576	2,547,000	2,655,000	2,767,000

① 消費者への情報発信を強化し、販売高の増加に努めます。

- 季節ごとにレシピを活用した試食販売会を実施し販売促進に努めます。
- 直売米の販売量の増加に向け、年間特約米のPRを強化します。

来店客数

単位:人

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
ふあ～みんSHOP 7店舗	1,110,412	1,120,000	1,130,000	1,140,000
にじいろふあ～みん	383,254	400,000	410,000	420,000
合 計	1,493,666	1,520,000	1,540,000	1,560,000

② イベントや収穫体験により来店客数の増加に努めます。

- 店舗ごとに地域性を活かしたイベントや、全店共通イベントを開催します。
- にじいろふあ～みんでは、直売所・レストラン・キッチンスタジオ・農園が一体となったイベントの開催や、トマト祭・いちごフェア等の特産品を活かして集客に取り組みます。



直売所での試食販売会



にじいろふあ～みんでのふあ～みんくん花壇

2 生産力の拡大

(1) 米・麦・大豆等の生産力の強化

- ① 米・麦・大豆では、栽培講習会の開催や病害虫発生予察調査に基づいた情報を農家へ提供し、適期防除の徹底と適期刈取りによって収量アップと品質向上に取り組みます。
 - ・米では、高温障害対策として、兵庫県が現在育成中の高温耐性品種について行政とともに積極的に取り組みます。
 - ・麦では、排水対策の強化および赤カビ病の適期防除の徹底を図ります。
 - ・大豆では、安定した単収を目指して適切な栽培管理・除草対策の指導を強化します。
- ② 小豆栽培の導入に向け、先進地視察などにより栽培技術を研究するとともに、農家向けの栽培講習会等を開催します。

(2) 農産物直売所の生産力の拡大

- ① 新規出荷者の確保と出品品目の増加に取り組みます。
 - ・直売所出荷者向けに技術向上のための栽培講習会を開催します。
 - ・出荷者の増加に向けてJA広報誌による募集や、農家の情報を活用して新規出荷者の確保に努めます。
 - ・JAの果樹園を活用した栽培講習会を開催し、ブドウなどの果樹作付け面積の拡大を図ります。



JA果樹園のブドウ栽培

直売所出荷者向け栽培講習会

(3) 野菜指定産地の維持に向けた作付け面積の拡大

作付け面積

単位:ha

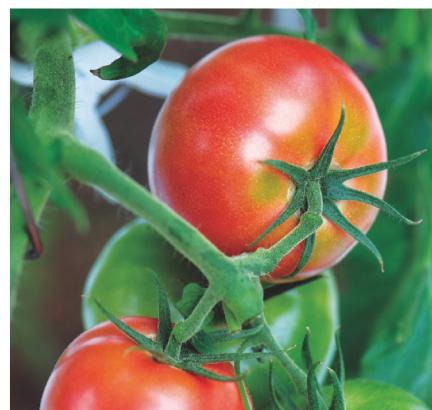
品 目	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
キャベツ	57.1	57.5	57.8	58.1
ブロッコリー	13.4	14.0	14.3	14.6
スイートコーン	10.8	12.0	13.0	13.5
レタス	6.9	7.2	7.5	7.8
トマト	1.5	1.5	1.5	1.5

① 野菜指定産地品目の作付け面積の拡大に取り組みます。

- ・作付け面積の拡大のため、収支モデル展示圃を設置・検証を行い、営農組合・大規模農家等の担い手農家に作付けを提案します。
- ・新たな出荷農家づくりや、出荷数量増加のための栽培説明会を開催します。

※野菜指定産地とは、作付け面積等の要件を満たす産地について、国及び県が指定する産地を「指定産地」と言います。

JA兵庫南では、要件を満たしているキャベツ・ブロッコリー・スイートコーン・レタス・トマトの品目が指定産地の認定を受けており、これらの品目は野菜価格安定事業の対象となります。



3 担い手の育成と支援

(1) 営農相談機能の充実

① 営農指導を強化するために営農指導体制の構築を図ります。

- ・営農インストラクターを設置し、営農専門担当者への指導を行うことによって人材育成に取り組みます。
- ・職員の資質向上を目指し、教育・資格取得等を計画的に行うため、「営農指導員育成強化プラン」を策定します。

(2) 営農組織への支援

① 米・麦・大豆については、各種栽培講習会による技術向上と、2年3作の土地利用型作物の提案に努めます。

② 加工用野菜の契約栽培の仕組みについての勉強会を開催し、知識の向上を図ります。

③ 作業の効率化に向け、スマート農業へ取り組みます。

- ・関係機関と連携し、スマート農業関連の展示・実演会を開催します。
- ・ドローンによる農薬散布を行い労力の削減効果を検証します。
- ・農地管理に役立つ「Z-GIS」等の普及に取り組みます。

※Z-GISとは、圃場情報をインターネットの電子地図と関連付けることで、効率的な農地管理を実現する全農の営農管理システムです。

④ 営農組合の設立・法人化及び広域化については、引き続き行政等と連携した支援を行います。



担い手農家懇談会



ドローンによる農薬散布

(3) 多様な担い手への支援

- ① ふあ～みんグリーン・F S かんきにおいて、鳥獣害対策資材の充実に努めます。また、行政が行う鳥獣害対策について積極的に支援します。
- ② 農業機械の購入や設備を拡大される方に農業者向け融資(アグリマイティー資金)を推進します。
- ③ 青壯年部の活動を支援するとともに、JAとの合同イベントを開催します。
- ④ 畜産農家の施設整備や機械導入支援のため、畜産クラスター事業に継続して取り組みます。
- ⑤ 補助事業等を活用し、施設園芸の規模拡大と新規農家の育成に努めます。

項目	支援策	助成基準
JA兵庫南ハウス導入支援資金	建設資金の一部を助成します。	導入資金の1/3。 上限50万円を助成。
兵庫県農業施設貸与事業	JAが施設を導入し農家にリースします。	県の補助率は1/2または1/3。補助残が1事業年度1件当たり2,000万円を上限。

※これまでの実績

単位:件、ha、千円(税別)

項目	件 数	面 積	金 額
JA兵庫南ハウス導入支援資金 (平成26年度～令和元年度累計)	66	4.05	27,760
兵庫県農業施設貸与事業 (平成27年度～令和元年度累計)	37	3.44	415,280

※ JA兵庫南ハウス導入支援資金の金額は、JAの助成金額です。

兵庫県農業施設貸与事業の金額は、総事業費の金額です。

(4) 新規就農者の育成

- ① JAの研修ハウスを活用し、施設園芸を目指す新規就農者への支援を行います。
- ② (株) ふあ～みんサポート東はりまが行う「育農塾」の修了者に就農を支援します。



貸与事業で導入したハウス



清流育ちの加古川和牛



加古川和牛の枝肉の断面

(5) 労働力不足に対する取り組み

① 援農ボランティア事業の活性化を図ります。

- ・ボランティアの拡大のため、地域住民に活動内容等の情報を発信し「援農ボランティア」への参加者を募ります。
- ・受入農家の拡大を図るため、農家への個別相談を行います。

受入農家・登録ボランティアの拡大

単位:件、人

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入農家 (登録件数)	3	5	8	10
登録ボランティア (登録人数)	12	15	20	25

② 農福連携事業に取り組みます。

- ・「農福連携」に対する理解を深めるため、受入農家に「農福連携」の仕組み等の情報を発信します。
- ・農業者と福祉事業所による意見交換会や研修会を開催します。

※農福連携は、単に「障がい者が農業分野で働くこと」ではなく、「障がい者を労働力として評価するとともに、障がい者の社会参加や地域貢献を進めることで、地域活性化と障がい者自身の生きがいづくり」を目指しています。

③ 無料職業紹介事業を活用した労働力支援に取り組みます。

- ・令和2年度開設予定の「JAグループ兵庫農業求人サイト」(中央会・全農が主体)へ参画し、JA兵庫南が行う無料職業紹介事業による求人者・求職者の募集に取り組みます。

④ 農業者のための労災保険特別加入制度への加入を推進します。

- ・担当者の知識の向上を図るとともに、農業者向け説明会を開催し、労災保険への加入を推進します。

加入件数目標

単位:件

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
加入件数	3	5	8	10



農福連携での玉ねぎの箱詰め作業



農福連携での菊の下葉取り作業

4

生産性の向上と生産コストの削減

(1) 生産コスト低減への取り組み

① 生産コストの削減に向けた実証圃の設置と低コスト用に開発された資材の普及に取り組みます。

- ・田植作業の省力化に向け、水稻苗の箱処理剤散布済み苗を普及します。
- ・水稻において、高窒素肥料（ハイLP800-E80号・D80号）や省力型ケイ酸資材（土力の達人）を普及します。
- ・麦において、収量の増加、品質の向上に向けた栽培体系の確立のため、実証圃を設置し結果を検証します。
- ・宮農組合・大規模農家を中心に銘柄集約肥料と大型規格農薬の提案を行います。
- ・中型・大型の機能集約型低価格機械の共同購入トラクターを普及します。
- ・野菜の出荷用資材の安価な仕様への変更や、仕入価格交渉によるコスト削減に取り組みます。



銘柄集約肥料のJA園芸化成S500



大型(60PS級)共同購入トラクター

(2) JA独自の支援施策による利用促進

① 各種奨励制度

項目	支援策	助成基準
生産資材早期予約割引	予約価格を設定し、通常価格より低価で供給します。	通常価格から5%引いた単価を適用します。
肥料・農薬大口奨励	前年度のご利用高に応じて奨励金として助成します。	100万円～300万円未満：供給高(税抜)の1% 300万円以上：供給高(税抜)の2%
肥料・農薬担い手価格の設定	担い手として登録されている農家に対し、担い手価格を設定し供給します。	通常価格から10%を値引きします。
肥料持ち帰り値引き	品目を限定し、店舗からの持ち帰り数量に対して値引きします。	対象品目について50(税別)円/袋を値引きします。
水稻苗大口割引	申込み枚数が基準数量を超える場合に値引きします。	500枚以上の申し込みに対し通常価格の10%を値引きします。
農会・女性会活動助成	農会・女性会を通じた購買(組織購買)のメリット措置を講じます。	組織購買供給金額の1～2%を活動助成金として還元します。

5

農産物等の安全・安心対策

(1) 農薬安全使用の指導強化

- ① 栽培講習会や農薬講習会を通じて、農薬の適正使用と栽培履歴記帳の徹底を図ります。
- ② 直売所では、新規加入者向けに農薬講習会を開催し適正使用の徹底に努めます。
- ③ 加工食品の衛生管理義務が強化されるため、生産者の知識の向上に向けた加工食品安全衛生講習会を開催します。

(2) 残留農薬・加工品微生物検査の実施

- ① JAから出荷する農産物について、残留農薬検査を実施し食の安全に取り組みます。

農産物残留農薬検査

単位:件

	令和元年度 (実績)	3ヵ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
検体数	53	54	54	54
農薬成分数	507	537	537	537

- ② 直売所に出品された加工食品の微生物検査を実施します。

加工品微生物検査

単位:件

	令和元年度 (実績)	3ヵ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
加工品検体数	96	100	100	100

第 A20-15-0048 号
2020年2月12日

証明書

厚生労働省公認検査機関
神戸市東灘区御影町1丁目2番15号
一般社団法人日本農薬検定協会
検査分析センター
電話078-841-4931代表

貴依様による検査結果を下記のとおり証明します。

試料名：キャベツ
受付年月日：2020年1月29日（提出見本）

記

検査項目	検査結果 (ppm)	基準値 (ppm)	定量下限 (ppm)	検査方法
アセタミブリド	検出せず	3	0.02	GC/MS法
ビリフルキナゾン	検出せず	0.5	0.01	LC/MS法
ボスクリド	検出せず	5	0.01	LC/MS法
フルオサメタミド	検出せず	1	0.01	LC/MS法
ピラクロストロビン	検出せず	0.2	0.01	LC/MS法
インドキサカルブ	検出せず	1	0.01	GC/MS法

以下余白

残留農薬の結果表



加工食品安全衛生講習会

6

施設の活用と関連施設の再編

(1) 施設を活用した取扱量の拡大

① カントリーエレベーター・ライスセンターの米荷受量の増加を図ります。

- 各営農経済センターが中心となり、米の作付け面積の拡大と未利用・低利用の生産者に施設利用の推進を行います。

米荷受量

単位:トン

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
荷受量(生糀)	5,977	6,050	6,120	6,200

② 水稲苗の利用促進を図ります。

- 利用者の田植作業が省力できる箱処理剤散布済み苗を普及します。

利用数量

単位:箱

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用数量	108,454	111,000	113,000	114,000

③ 良品質野菜苗の安定供給を目指します。

- キャベツ・ブロッコリー・スイートコーン等を中心に苗の供給量を増加します。
- 品種特性や気候条件の変化に対応できるよう育苗技術を研鑽し、良質苗の安定供給を目指します。

供給数量

単位:千本

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
野菜苗	3,568	3,600	3,650	3,700



育苗センターでの箱処理剤散布



安定供給を目指した良品質野菜苗

④食農施設の売上高と利用者数を増やします。

- ・食農教育の一環として、にじいろレストランで地元産食材を重点に使用したメニューの提供とPRを行い利用者の増加を図ります。
- ・キッチンスタジオにおいても、旬の地元産農産物を活用した料理教室の開催を強化し利用者の増加に努めます。

にじいろレストラン

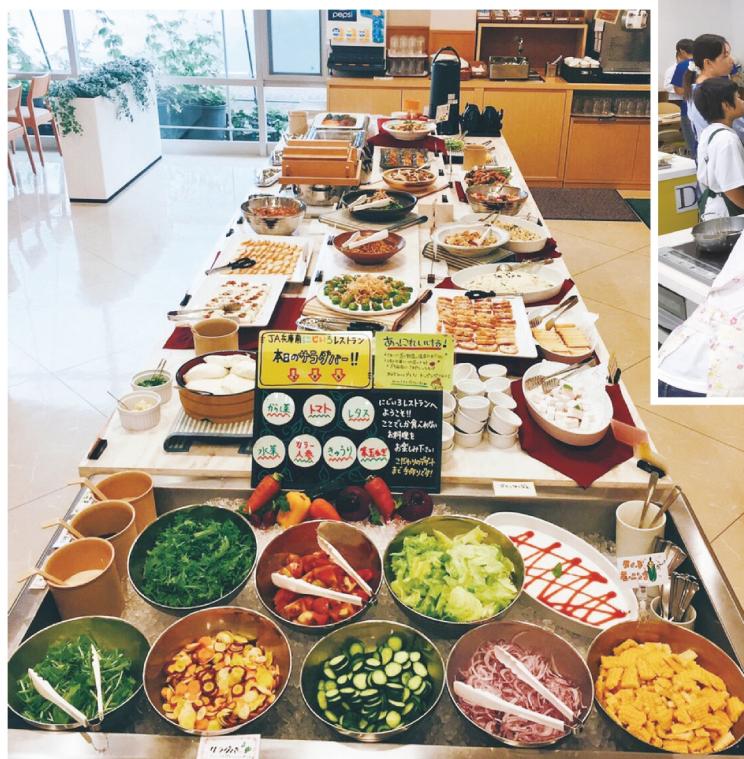
単位:千円(税別)、人

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	62,075	70,000	72,000	74,000
利用者数	46,454	46,000	48,000	50,000

キッチンスタジオ

単位:回、人

	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
料理教室(年間回数)	92	90	90	90
参加人数	920	900	900	900



にじいろレストランの献立



キッチンスタジオでの料理教室

(2) 関連施設の再編への取り組み

① 穀類の施設の再編

- 施設の再編を検討するため、コンサルタントを導入します。
- 水稻育苗では、農家から成苗への要望が増えており苗の育苗管理場所が課題となっているため、今後の管理方法を検討します。

② 野菜の集出荷施設の再編

- 野菜指定産地の維持・拡大に向け、既存の集出荷施設の再編及びブロッコリー・スイートコーン等の共同選果場の導入を検討します。



成苗のための育苗管理

(1) 明石播磨地区

- ① 需要が見込まれる地元産米の集荷数量の増加に取り組みます。
 - ・市街化による農地の減少が進む中、低コスト・省力型の生産資材を提案し作付け面積の維持に努めるとともに、出荷予約の推進を強化し集荷数量の増加に取り組みます。
- ② キャベツ・ブロッコリー・スイートコーンの作付け面積の拡大と生産コストの軽減に取り組みます。
 - ・新品種の試験実証圃の設置により、良品種の選定を行います。また、低コスト栽培に適した肥料・農薬・資材を提案し生産資材のコスト軽減に取り組みます。
- ③ ふあ～みんSHOP向けの作付け品目を推進し、出荷量の増加に取り組みます。
 - ・栽培講習会の開催や野菜育苗センターを活用して出荷量の増加に努めるとともに、安全・安心な農産物を地元消費者へ提供します。



清水いちご

(2) 加古川地区

- ① 水稲・麦作について、単収の増加と省力化に取り組みます。
 - ・水稻において、作業を分散し労働力の平準化のため、収穫時期の異なる品種の作付けを薦めます。麦については、収量の増加を目指した分施体系で、追肥2回を1回にする散布の省力化に向けた実証圃を設置し、効果を検証します。
- ② 野菜の品質の向上と作付け面積の拡大に取り組みます。
 - ・契約出荷の品目について、圃場巡回による栽培管理を強化します。また、市場出荷を視野に入れた作付け面積の拡大を図ります。
- ③ ふあ～みんSHOPへの出品数量及び品目の増加に取り組みます。
 - ・野菜育苗センターの活用とふあ～みんSHOPが必要とする品目を把握し、栽培講習会を通じて新規品目の提案推進を行い店舗品揃えの充実に努めます。



志方イチジク

(3) 稲美地区

- ① 主食用米・大麦・大豆などの水田フル活用を推進するとともに、品質向上と集荷数量の増加に取り組みます。
- ・水稻・大麦栽培については、生産者の労力軽減に向け、新しい省力施肥体系と農薬の効果を検証するため、肥料・農薬の試験圃場を設置します。
- ② キャベツの作付け面積維持と地域ブランド品の面積拡大に取り組みます。
- ・キャベツでは、気候変動の影響と生産者の高齢化にともない作付け面積の維持が困難なため、新規就農者の育成と気候変動の影響を受けにくい品種の選定を行います。また、地域ブランド品（いなみ野メロン・スイートモーニング）について、面積拡大と販売力強化に努めます。
- ③ ふあ～みんSHOP品揃えの強化と所得向上に取り組みます。
- ・ふあ～みんSHOPと営農涉外が連携し、少量多品目栽培の推進と栽培指導の充実を図り、生産意欲の向上と店舗品揃えの強化に努めます。



いなみ野メロン

(4) 高砂地区

- ① ふあ～みんSHOP出荷者の確保と農産物の品揃えの充実を図ります。
- ・ふあ～みんSHOP出荷者への加入を推進するとともに、栽培講習会の開催及び育苗センターの野菜苗の提供により、地場産農産物を増加し消費者に提供します。
- ② 特產品の品質の向上に努め、農家所得の向上に取り組みます。
- ・JA兵庫南じゃがいも部会で取り組んでいるアンデスレッドの産地化を目指し、実需者のニーズに合わせた計画的な出荷を行い、農業所得の向上に取り組みます。
- ③ 遊休農地の解消に取り組みます。
- ・農業者の高齢化が社会的課題になる中、JA兵庫南再委託者部会を中心に農作業の受託を行うとともに、(株)ふあ～みんサポート東はりまと連携した遊休農地の解消に努めます。



ブルーベリー

市場・契約・インショップ販売計画

単位:千円(税別)

年度 出荷区分	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
市場出荷	187,204	203,000	208,000	220,000
契約販売	121,894	125,000	128,000	134,000
インショップ	58,543	62,000	64,000	66,000
合計	367,641	390,000	400,000	420,000

農産物直売所店舗別売上計画

単位:千円(税別)

年度 出荷区分	令和元年度 (実績)	3カ年計画		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
ふあ～みんSHOP魚住	163,433	170,000	173,000	177,000
ふあ～みんSHOP二見	146,333	156,000	159,000	162,000
ふあ～みんSHOP播磨	144,408	158,000	161,000	164,000
ふあ～みんSHOP八幡	311,492	335,000	341,000	348,000
ふあ～みんSHOPかんき	370,129	379,000	386,000	394,000
ふあ～みんSHOPいなみ	277,536	301,000	307,000	313,000
ふあ～みんSHOP高砂	200,077	209,000	213,000	217,000
にじいろふあ～みん	752,168	839,000	915,000	992,000
合計	2,365,576	2,547,000	2,655,000	2,767,000



各直売所へ搬入する物流便トラック



① 本店

② 営農総合支援センター
物流センター
稻美営農経済センター
ふあ～みんグリーン
農機センター
稻美カントリーエレベーター

③ 稲美有線放送

④ ふあ～みんSHOPいなみ
いなみ朝市

⑤ にじいろふあ～みん

⑥ 明石播磨営農経済センター

⑦ ふあ～みんSHOP魚住

⑧ 魚住ライスセンター

⑨ ふあ～みんSHOP二見

⑩ ふあ～みんSHOP播磨

⑪ 播磨ライスセンター

⑫ 高砂営農経済センター

⑬ ふあ～みんSHOP高砂

⑭ ふあ～みんSHOPかんき

⑯ 加古川西出張所

⑰ 加古川営農経済センター

⑱ ふあ～みんSHOP八幡
八幡育苗センター
低温農業倉庫
野菜育苗センター

⑲ 八幡カントリーエレベーター

⑳ (株)ふあ～みんサポート東はりま



兵庫南農業協同組合

本店／〒675-0066 加古川市加古川町寺家町621 ☎079(424) 8001
當農經濟部／〒675-1121 加古郡稻美町北山1243-1 ☎079(496) 5780